

団塊の世代が 後期高齢者となる 2025 年問題

～ 将来に向かって持続可能な
まちづくりの実現 ～



おの やす ひで
小野 泰 秀

創 生 会

質

2025年問題は、戦後のいわゆるベビーブームに生まれた世代が75歳の後期高齢者の年齢に達する年となり、これまでの国の社会保障制度の大部分を数の力で支えてきた団塊の世代が、一気に給付を受ける側に回ることとなり、国や自治体の社会保障財政の運営に大きな影響を及ぼすものと思われる。

市としては、2025年を見据え、どのような戦略をもって医療や介護、福祉サービスを提供していくのか。



答
市長

2025年までを計画期間とした第2次豊後大野市総合計画の政策目標である豊かな福祉社会の実現を目指すまちを実現するために、保健・医療サービス、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉などの充実に向けた各種施策を着実に進めることとしています。

どうなっているマイナンバー制度

～ 普及に向けた取り組みを進める ～

質

個人番号カードの交付申請が、2016年1月から市町村の窓口において開始され2年8カ月が経ち、現在、政府と関係省庁が一丸となって利便性を高めるための取り組みを進めるなど、国民の知らないところで粛々とマイナンバーカードの用途拡大を図っているようだが、市はこのマイナンバー制度についてどのような考えを持っているのか。

答
総務課長

マイナンバー制度は、公平・公正な社会の実現、国民の利便性の向上と行政の効率化を実現していく上で必要不可欠なものであると認識していますので、引き続き、市民の皆さまに対し、ケーブルテレビ等を通じてカードの取得を呼びかけるとともに、職員とその家族に対しても、取得促進の呼び掛けを継続して行います。





あか みね てる ひろ
赤 峰 映 洋

創 生 会

本市における買い物弱者の 実態と対策は

～ 支援策を検討 ～

質

今後間違いなく増加するであろう買い物に不便を来す人の実態を把握しなければ、しっかりとした対策もたてられない。早期の実態調査をお願いしたい。

答

高齢者福祉課長

買い物と移動の問題は各地の課題となっています。本年度は市全体の住民同士の支え合い活動を応援する組織を立ち上げる予定で、地域に共通する課題や有効な支援策を検討します。

質

市民病院は、地域医療を担う自治体病院として市民に対して果たす役割は大きく、責任もある。今後、どの分野に力を入れ、市民の求める安心して治療ができる病院を目指していくのか。

市民病院はどのようにして 市民の満足度と信頼を得るのか

～ 豊肥地域で設備の最も整った
医療施設としての役割を果たしたい ～

答

市民病院長

現時点での役割は、急性期医療を担うことと考えています。地域住民は高齢者が多く、何らかの病気を抱えている方が多いことなど、病気の増悪や骨折などで急な入院治療が必要になった際の診療を担うことが市民病院の役割です。

質

市民病院に行きたくても行けない人も数多くいると思うが、その対応は。

答

市民病院事務長

送迎バスは今後の課題として、検討していきます。



質

新電力数も500社を超え、2年間で約2倍になっている。大手や新電力会社との競争も激しくなってきたているが、今後の営業政策はどうするのか。

答

市長

収益性が高まれば、住民の皆さまに還元できる付加サービスを提供できると考えます。一般家庭には、自治会回覧やケーブルテレビ等で周知し、加入推進に取り組みます。

ぶんどおおのエネルギーが 市民にとってどのような 恩恵があるのか

～ 新しい産業や雇用を創出する ～